

指 示

令和 6 年 2 月 8 日
給付指 2024-12
リ統指 2024-6

「年金給付に係る事務処理誤り等の総点検」に関するお客様対応
(令和 6 年 2 月)

情報提供先	相談センター <input checked="" type="checkbox"/>	社労士会 <input checked="" type="checkbox"/>	健保協会 <input type="checkbox"/>	機構健保 <input type="checkbox"/>
-------	--	--	-------------------------------	-------------------------------

目的・趣旨	<p>平成 30 年 4 月 11 日【給付指 2018-41】※「年金給付に係る事務処理誤り等の総点検」に関するお客様対応（平成 30 年 4 月）で告示したとおり、令和 6 年 2 月にお客様対応を行う増額事象についてお知らせします。</p>
指示の内容	<p>1 対応を行う事象</p> <p>（1）項番 42「70 歳以上の二以上事業所勤務被用者にかかる資格喪失届の処理誤りによる在職支給停止の解除漏れ」</p> <p>（2）項番 43「一時的に支払いを保留した年金の保留解除処理漏れ」</p> <p>2 お客様へのお知らせ文書送付日、支払日及び年金事務所での対応</p> <p>（1）項番 42</p> <p>詳細は令和 5 年 12 月 12 日【厚年指 2023-173】※「二以上勤務被用者に係る事務処理誤りの対応（その 3）」を参照してください。</p> <p>（2）項番 43</p> <p>① 職権で増額処理を行う対象者</p> <ul style="list-style-type: none">・お知らせ送付日：令和 6 年 2 月 9 日（金）・支払日：令和 6 年 2 月 15 日（木） <p>② 届書提出勧奨を行う対象者</p> <ul style="list-style-type: none">・お知らせ送付日：令和 6 年 2 月 29 日（木） <p>③ 年金事務所での対応：</p> <p>お客様へのお知らせ文書の送付は本部で行いますが、項番 43 に係るお知らせ文書のうち、年金受給選択申出書については提出先を最寄りの年金事務所としている（別</p>

	<p>添 2 参照）ため、お客様から照会があった際は、以下の場所に掲載している事務処理手順書に基づき、丁寧に対応してください。その他のお知らせ文書に記載する照会先はコールセンターの給付点検専用ダイヤルとしますが、お客様から年金事務所に対して照会があった場合は、同様に以下の場所に掲載している事務処理手順書に基づき丁寧に対応してください。</p> <p>3 事務処理手順書全文掲載場所（機構全体掲示板）</p> <p>（1）項番 42</p> <p>03301_その他≫00601_年金給付事業部門≫年金給付に係る事務処理誤り等の総点検事務処理手順書≫項番 42「70 歳以上の二以上事業所勤務被用者にかかる資格喪失届の処理誤りによる在職支給停止の解除漏れ」</p> <p>（2）項番 43</p> <p>03301_その他≫00601_年金給付事業部門≫年金給付に係る事務処理誤り等の総点検事務処理手順書≫項番 43「一時的に支払いを保留した年金の保留解除処理漏れ」</p>
（注意点）	<p>総点検事業について、本部で特定した対象者に係る事務処理誤り報告は、本部で一括して行うため、年金事務所で個別の事務処理誤り報告は不要です。なお、本部で対象者を特定する前に、年金事務所等で事務処理誤りが判明した場合には、従来どおり、事件・事故・事務処理誤り対応要領（要領第 20 号）に基づき報告してください。</p>
別添資料	<p>【別添 1】年金給付に係る事務処理誤りの総点検 事務処理手順書（項番 42）＜第 2 版＞</p> <p>【別添 2】お知らせ文書「年金受給選択申出書等の提出のご案内」（項番 43）</p> <p>【別添 3】年金給付に係る事務処理誤りの総点検 事務処理手順書（項番 43）＜第 3 版＞</p>

「要報告」の場合	
報告期限	—
報告先	—

テレビ解説対象

☐

年金給付に係る事務処理誤りの総点検

事務処理手順書（項番 42）

「70 歳以上の二以上事業所勤務被用者にかかる資格喪失届の
処理誤りによる在職支給停止の解除漏れ」

＜第 2 版＞

令和 6 年 2 月 8 日

日本年金機構 年金給付部

目次

1	事象及び事務処理	・ ・ ・	3
2	令和 6 年 2 月の対象者	・ ・ ・	4
3	Q & A	・ ・ ・	5
	【参考】過去の対象者	・ ・ ・	10

1 事象及び事務処理

（1）事象の概要

二以上勤務被用者に係る事務処理において、「厚生年金保険 70 歳以上被用者該当・不該当届」の入力処理の際、該当年月日・不該当年月日及び作成原因の入力を誤ったため、年金給付システムに正しい標準報酬月額相当額等の記録が反映されず、在職老齢年金（停止）額が正しく計算されなかった結果、未払い又は過払いが生じています。

※ 項番 42 は [平成 30 年 9 月 7 日「事務処理誤り等（平成 29 年 4 月分～平成 30 年 3 月分）の年次公表について」](#)により公表された事象です。

※ 事象の詳細は [令和 4 年 1 月 26 日【厚年指 2022-7】「二以上勤務被用者に係る事務処理誤りの対応」](#)の別添 1「二以上勤務被用者に係る 70 歳以上被用者の入力誤り（事例と補正内容）」を参照してください。

（2）システムの再発防止策

「厚生年金保険 70 歳以上被用者該当・不該当届」の入力誤りが発生しないよう、令和 4 年 11 月にシステム改修を行っています。

※ 詳細は [令和 4 年 10 月 31 日【厚年連 2022-97】「70 歳以上被用者該当・不該当処理に係る入力誤り防止のためのシステム改修」](#)及び [令和 4 年 12 月 23 日【厚年指 2022-176】「70 歳以上被用者該当・不該当要確認リスト出力後の対応」](#)を参照してください。

（3）今後の対応方針

年金事務所で資格記録を補正した後、中央年金センターにおいて、在職老齢年金（停止）額を正しく計算した上で、対象者にお詫びのお手紙「老齢厚生年金の追加支給のご案内」を送付します。

（4）消滅時効に係る年金の支払い（支払方法）

在職老齢年金（停止）額の変更は、お客様からの届書に基づく処理ではなく、機構の事務処理誤りに該当するため、消滅時効に係る年金（5 年を超えた期間）について、時効を撤廃して支払います。

（5）具体的な事務処理

詳細は [令和 5 年 12 月 12 日【厚年指 2023-173】※「二以上勤務被用者に係る事務処理誤りの対応（その 3）」](#)を参照してください。

2 令和 6 年 2 月の対象者

以下の条件を全て満たす者の一部

- ① 「厚生年金保険 70 歳以上被用者該当・不該当届」の入力処理の際、該当年月日・不該当年月日及び作成原因の入力誤りがある者
- ② 上記①による資格記録不備の補正後、在職老齢年金（停止）額を再計算することにより未払いが発生する者
- ③ 現存者（支払保留「2」の者及び差止中の者を除く。）

3 Q & A

| | |-------------| | お客様向け Q & A | |-------------| （年金事務所・専用ダイヤル・コールセンター用）

- 問 1 今回の事象はどのような事象か。
- 問 2 「老齢厚生年金の追加支給のご案内」が届いたが、これは何か。
- 問 3 「老齢厚生年金の追加支給のご案内」が届いたが、手続きをする必要はあるのか。
- 問 4 このような事象が生じた原因は何か。
- 問 5 受給している年金にどのような影響があるのか。
- 問 6 未払いの金額を教えてください。
- 問 7 未払い金はどこまで遡って支払われるのか（消滅時効のため、支払われない年金はないか。）。
- 問 8 事前に予約しないと相談はできないのか。

| | |------------| | 職員向け Q & A | |------------|

- 問 1 本事象の対象者かどうかは年金事務所で確認可能か。
- 問 2 本事象の対象者のうち、今回の対象者以外の者について、いつ、対応を行うのか。
- 問 3 お客様から、税金等について具体的な案内を求められた場合、どこに照会するように案内するのか。
- 問 4 今回の事象の対象者数や未払い金額は改めて公表するのか。

お客様向けQ & A

問1 今回の事象はどのような事象か。

（答）

このたび、お客様が受け取られている年金額について確認いたしましたところ、本来より少ない年金額をお支払いしていることが判明しました。

具体的には、二以上の事業所に勤務されている方に係る事務処理を誤ったため、正しい標準報酬月額相当額等が年金記録に反映されず、在職老齢年金（停止）額が正しく計算されていないことにより老齢厚生年金に未払いが生じていました。

問2 「老齢厚生年金の追加支給のご案内」が届いたが、これは何か。

（答）

このたび、お客様が受け取られている年金額について確認いたしましたところ、未払いがあることが判明しました。

具体的には、二以上の事業所に勤務されている方に係る事務処理を誤ったため、正しい標準報酬月額相当額等が年金記録に反映されず、在職老齢年金（停止）額が正しく計算されていないことにより老齢厚生年金に未払いが生じていました。

このたび、未払い分のお支払いの準備ができましたので、お支払いについてご案内するものです。

問3 「老齢厚生年金の追加支給のご案内」が届いたが、手続きをする必要はあるのか。

（答）

お客様の老齢厚生年金を正しくお支払いするための訂正処理が完了したことをお知らせするものですので、お客様の手続きは不要です。

問4 このような事象が生じた原因は何か。

（答）

二以上の適用事業所に勤務する方が、事業所を退職する際には、事業主から届出をいただきますが、この届出の処理を誤ってしまったことが原因です。

問 5 受給している年金にどのような影響があるのか。

(答)

本来より多い支給停止額となっていることから、受給している年金に未払いが生じています。

問 6 未払いの金額を教えてください。

(答)

別途送付いたします「支給額変更通知書」及び「年金支払通知書」あるいは「年金振込通知書」をご覧ください。

問 7 未払い金はどこまで遡って支払われるのか（消滅時効のため、支払われない年金はないか。）。

(答)

事務処理誤りに該当するため、5 年（消滅時効）を超える期間についても、全額お支払いします。

問 8 事前に予約しないと相談はできないのか。

(答)

必ず予約していただく必要はありませんが、直接、年金事務所にお越しいただくと、お待ちいただくことがありますので、予約していただくことをおすすめしています。

職員向け Q & A

問 1 本事象の対象者かどうかは年金事務所で確認可能か。

（答）

厚生年金保険部から対象者一覧を指定のフォルダに格納していますので、確認してください。

なお、資格記録の補正依頼は事業所の所在地を管轄する年金事務所に、お客様対応は対象者の住所地を管轄する年金事務所に、それぞれ対象者一覧を格納しますので、資格記録の補正を行っていない年金事務所でもお客様対応を行う場合があることに留意してください。

問 2 本事象の対象者のうち、今回の対象者以外の者について、いつ、対応を行うのか。

（答）

同一事象であっても、個々のお客様の記録によって、お客様へのお支払いまでの処理方法等が異なるため、お客様対応が可能な時期が異なります。準備ができたものから順次対応を行うこととしています。

今後のお手紙送付対象者については、随時お客様対応をお示しします。

問 3 お客様から、税金等について具体的な案内を求められた場合、どこに照会するように案内するのか。

（答）

それぞれについて、以下のとおり案内してください。

- ・税金（国税）
⇒お近くの税務署
- ・住民税、国民健康保険料（税）、介護保険料
⇒お住まいの市区町村役場
- ・雇用保険の給付
⇒お近くのハローワーク
- ・各健康保険制度から支給される傷病手当金
⇒加入している健康保険の保険者
- ・企業年金基金
⇒加入員であった厚生年金基金又は企業年金連合会

問 4 今回の事象の対象者数や未払い金額は改めて公表するのか。

（答）

月次の事務処理誤り報告で公表します。

【参考】過去の対象者

1 令和 5 年 12 月の対象者

以下の条件を全て満たす者の一部

- ① 「厚生年金保険 70 歳以上被用者該当・不該当届」の入力処理の際、該当年月日・不該当年月日及び作成原因の入力誤りがある者
- ② 上記①による資格記録不備の補正後、在職老齢年金（停止）額を再計算することにより未払いが発生する者
- ③ 現存者（支払保留「2」の者及び差止中の者を除く。）

現存未払い
選択申出書提出勧奨

送付年月

令和●年●月
日本年金機構

年金受給選択申出書等の提出のご案内

日頃から年金制度の運営に対し、ご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。
このたび、お客様が受け取られている年金額について確認いたしましたところ、下記内容のお手続をいただくことで、お客様が受給されている年金を増額できる可能性があることが判明いたしました。

つきましては、同封の届書（または申出書）に必要事項を記載のうえ、最寄りの年金事務所にご提出ください。

記

1. 対象となる年金の種類

○○年金

保留解除する年金種別

2. ご案内の理由

年金を受給されている方に、異なる種別の年金が新規裁定された場合、お客様から年金受給選択申出書の提出があるまでは支払いを保留しますが、年金受給選択申出書の提出をいただいていないため、年金の支払いが保留されたままであることが判明いたしました。年金受給選択申出書をご提出いただくことにより、保留を解除し支給することができます。

3. 提出が必要な届書（または申出書）

年金受給選択申出書、振込先申出書、所得に係る申立書

4. 提出先

最寄りの年金事務所

対象者毎に必要な以下のいずれか
年金受給選択申出書／振込先申出書／
所得に係る申立書

5. お支払いする金額

お支払い日の前に届く「年金支払通知書」または「年金振込通知書」をご確認ください。

上記につきまして、ご不明な点等がございましたら、お手数ですが、最寄りの年金事務所又は裏面の給付点検専用ダイヤルにご相談ください。

送付年月

R●● 給付点検No.43

○ お問い合わせ先（コールセンター）

給付点検専用ダイヤル：0120-511-612

受付時間 月 曜 日 8：30～19：00

火～金曜日 8：30～17：15

第 2 土曜日 9：30～16：00

土曜日、日曜日、祝日（第 2 土曜日は除く）、12 月 29 日～1 月 3 日は
ご利用いただけません。（受付時間に変更される場合があります。）

※ 給付点検専用ダイヤルにご相談いただく際は、年金証書等に記載している「基礎年金番号」をご用意ください。

※ 月曜日など休日明けやお客様のお手元に通知書が届いた直後（5 日程度）は、電話がつながりにくくなっております。週の後半と月の後半はつながりやすくなっておりますので、どうぞご利用ください。

改めまして、このたびはお客様に多大なるご迷惑をおかけいたしましたこと、心よりお詫び申し上げます。

年金給付に係る事務処理誤りの総点検

事務処理手順書（項番 43）

「一時的に支払いを保留した年金の保留解除処理漏れ」

＜第 3 版＞

令和 6 年 2 月 8 日

日本年金機構 年金給付部

目次

1	事象及び事務処理	．．．	3
2	令和 6 年 2 月の対象者	．．．	5
3	お客様への送付文書	．．．	7
4	Q & A	．．．	21
	【参考】過去の対象者	．．．	30

1 事象及び事務処理

(1) 事象の概要

年金の支払いを停止する事由が生じた場合、過払いを防止するため、一時的に支払いを保留する処理を行います。その後当該事由が解消した際に解除処理が漏れたため、未払いが生じています。

なお、誤って支払いを保留しており、解除処理を行っていない場合も本事象に含みます。

※ 項番 43 は 令和 5 年 9 月 11 日「事務処理誤り等（令和 4 年 4 月分～令和 5 年 3 月分）の年次公表について」により公表された事象です。

(2) システムの再発防止策

定期的にシステムにより特定し、確認を行うことで、再発防止を図ります。

(3) 今後の対応方針

本事象は、システムで対象者を抽出することが可能であり、個別に連絡を行うなど必要な対応を実施します。

保留の解除について職権処理が可能な場合は、保留解除処理を行った上で、対象者にお詫びのお手紙を送付します。

(4) 消滅時効に係る年金の支払い（支払方法）

保留の解除について、保留する事由が解消したにもかかわらず解除処理を行っていなかったことは、機構の事務処理誤りに該当するため、消滅時効に係る年金（5 年を超えた期間）について、時効を撤廃して支払います。

なお、保留の解除について年金受給選択申出書の届出が必要な場合は、受給権者の届出漏れであることから、消滅時効に係る年金の支払い（5 年を超えた期間の支払）は行いません。

(5) 具体的な事務処理

① 職権処理が可能な場合（現存者）

ア 中央年金センターにおいて、保留解除処理を行います。

イ 本部において、支払月の上旬に、年金支払通知書にお知らせ文書（別紙 1）を同封し、対象者に送付します。

※ 一部の対象者については、年金支払通知書が作成されないため、年金支払通知書は同封せずに送付します。年金支払通知書が作成されない対象者には、別途、年金振込通知書（ハガキ）を送付しています。

- ※ 年金生活者支援給付金（以下「支援給付金」という。）の支給要件を満たす可能性のある者には、お知らせ文書（別紙 6）及び年金生活者支援給付金請求書（左上に総点検と朱書きした用紙）を同封します。なお、お知らせ文書（別紙 6）には、遡って支援給付金の支払いを行うために、速やかな請求手続をお願いする旨の内容を記載しています。
- ウ 年金支払日（定期支払日又は随時支払日）に、未払いとなっている年金を支払います。

② 振込先又は所得の確認が必要な場合（現存者）

- ア 中央年金センターから対象者に対して、お知らせ文書（別紙 2）及び振込先申出書（別紙 3 又は別紙 4）を送付します。また、所得の確認が必要な者に所得に係る申立書（別紙 5）を送付します。
- ※ 支援給付金の支給要件を満たす可能性のある者には、年金生活者支援給付金請求書（左上に総点検と朱書きした用紙）を同封します。
- イ 対象者から届書を受付後、中央年金センターで、保留解除処理を行います。
- ウ 本部において、年金支払通知書（又は年金振込通知書（ハガキ））を対象者に送付します。
- エ 年金支払日（定期支払日又は随時支払日）に、未払いとなっている年金を支払います。

③ 年金受給選択申出書の届出が必要な場合（現存者）

- ア 中央年金センターから対象者に対して、お知らせ文書（別紙 7）及び年金受給選択申出書を送付します。また、振込先確認が必要な場合は振込先申出書（別紙 3 又は別紙 4）を送付し、所得の確認が必要な者には所得に係る申立書（別紙 5）を送付します。
- イ 年金事務所で届書を受付後、中央年金センターで、保留解除処理及び選択処理を行います。
- ウ 本部において、年金支払通知書（又は年金振込通知書（ハガキ））を対象者に送付します。
- エ 年金支払日（定期支払日又は随時支払日）に、未払いとなっている年金を支払います。

(6) 年金事務所でのお客様対応時の注意事項

年金受給選択申出書の届出が必要な対象者は、以下の事項について注意してください。

- ・一方の年金が長期間保留されている場合が多いことから、年金受給選択申出書を年金事務所の窓口で受付する際は、「[業務処理要領年金給付業務編](#)＞[本部回付（選択・再裁定・外国）](#)＞[国民年金・共済年金（等）・厚生年金保険 年金受給選択申出書](#)」による受付時の点検を徹底してください。
- ・保留を解除する年金の振込先金融機関口座を確認してください。統廃合等により振込先金融機関口座を変更する場合は「年金受給権者受取機関変更届」により変更処理を行ってください。
- ・保留を解除する遺族厚生（共済）年金が失権事由に該当（再婚等の有無）していないことを確認してください。
- ・選択方法については税金、厚生年金基金、傷病手当金、労災給付、配偶者の加給年金等を考慮し案内してください。
- ・届書を受付した場合は、中央年金センター総点検対応グループに回付してください。

2 令和 6 年 2 月の対象者

(1) 以下の条件を全て満たす者の一部（別紙 1）

- ① 遺族厚生年金が未選択保留 1 の状態である
- ② 遺族厚生年金の他に、併給が可能な他年金を受給中である
- ③ 遺族厚生年金と受給中の他年金（日本年金機構から支給されているものに限る。）の振込口座が同一である
- ④ 公用請求等により、遺族年金が失権事由に該当していないことが確認できる

(2) 以下の条件を全て満たす者の一部（別紙 2・別紙 3 又は別紙 4）

- ① 未選択保留 1 又は未選択保留 2 の状態である
- ② 住民基本台帳検索により、生存していることが確認できる
- ③ 保留中の年金の他に、併給が可能な他年金を受給中であり、振込口座が相違している
- ④ 保留中の年金が遺族年金の場合、公用請求等により失権事由に該当していないことが確認できる

(3) 以下の条件を全て満たす者の一部 (別紙 2・別紙 3 又は別紙 4)

- ① 支払保留 2 の状態である
- ② 住民基本台帳検索により、生存していることが確認できる
- ③ 保留中の年金の他に年金を受給していない、又は他に受給中の年金があるが、振込口座が相違している
- ④ 保留中の年金が遺族年金の場合、公用請求等により失権事由に該当していないことが確認できる

(4) 以下の条件を全て満たす者の一部 (別紙 7・年金受給選択申出書)

- ① 未選択保留 1 又は未選択保留 2 の状態であり、他の選択関係にある年金を受給している
- ② 住民基本台帳検索により、生存していることが確認できる

令和●年●月
日本年金機構

年金の追加支給のご案内

日頃から年金制度の運営に対し、ご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。
このたび、お客様が受け取られている年金額について確認いたしましたところ、未払いがあることが判明しました。

このような事態を招きましたことを、深くお詫び申し上げます。

つきましては、下記のとおり追加で未払い分の年金をお支払いさせていただくことといたしましたので、ご確認いただきますようお願い申し上げます。

記

1. 対象となる年金の種類

○○年金

保留解除する年金種別

2. 追加お支払いの理由

年金の支払いを停止する事由が生じた場合、過払いを防止するため、一時的に支払いを保留する処理を行いますが、その後当該事由が解消した際に解除処理が漏れたため、未払いが生じていました。

3. お支払い日

令和●年●月●日（●）

支払年月（日）を記載

※支払日は偶数月奇数月かわらず 15 日
（休日等の場合は前営業日）

4. 今回お支払いする金額

同封の「年金支払通知書」をご覧ください。

「年金支払通知書」が同封されていないお客様におかれましては、同封の「年金振込通知書」をご覧ください。

上記につきまして、ご不明な点等がございましたら、お手数ですが、裏面の給付点検専用ダイヤルにご相談ください。

R●● 給付点検No.43

○ お問い合わせ先（コールセンター）

給付点検専用ダイヤル：0120-511-612

受付時間 月 曜 日 8：30～19：00

火～金曜日 8：30～17：15

第 2 土曜日 9：30～16：00

土曜日、日曜日、祝日（第 2 土曜日は除く）、12 月 29 日～1 月 3 日は
ご利用いただけません。（受付時間は変更される場合があります。）

※ 給付点検専用ダイヤルにご相談いただく際は、年金証書等に記載している「基礎年金番号」をご用意ください。

※ 月曜日など休日明けやお客様のお手元に通知書が届いた直後（5 日程度）は、電話がつながりにくくなっております。週の後半と月の後半はつながりやすくなっておりますので、どうぞご利用ください。

改めまして、このたびはお客様に多大なるご迷惑をおかけいたしましたこと、心よりお詫び申し上げます。

現存未払い
届書提出勧奨

送付年月

令和●年●月
日本年金機構

年金の追加支給に関する届書等提出のご案内

日頃から年金制度の運営に対し、ご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。
このたび、お客様が受け取られている年金額について確認いたしましたところ、未払いがあることが判明しました。

このような事態を招きましたことを、深くお詫び申し上げます。

つきましては、下記のとおり追加で未払い分の年金をお支払いさせていただくことといたしましたので、同封の届書に必要事項を記載のうえ、返信用封筒にてご提出ください。

記

1. 対象となる年金の種類

〇〇年金

保留解除する年金種別

2. 追加お支払いの理由

年金の支払いを停止する事由が生じた場合、過払いを防止するため、一時的に支払いを保留する処理を行いますが、その後当該事由が解消した際に解除処理が漏れたため、未払いが生じていました。

対象者毎に必要な以下のいずれか
振込先申出書／所得に係る申立書
／年金生活者支援給付金請求書

3. 提出が必要な届書（または申出書）

振込先申出書、所得に係る申立書、年金生活者支援給付金請求書

4. 提出先

日本年金機構本部（同封の返信用封筒によりご提出ください）

5. お支払いする金額

お支払い日の前に届く「年金支払通知書」または「年金振込通知書」をご確認ください。

上記につきまして、ご不明な点等がございましたら、お手数ですが、裏面の給付点検専用ダイヤルにご相談ください。

送付年月

R●.● 給付点検No.43

○ お問い合わせ先（コールセンター）

給付点検専用ダイヤル：0120-511-612

受付時間 月 曜 日 8：30～19：00

火～金曜日 8：30～17：15

第 2 土曜日 9：30～16：00

土曜日、日曜日、祝日（第 2 土曜日は除く）、12 月 29 日～1 月 3 日は
ご利用いただけません。（受付時間は変更される場合があります。）

※ 給付点検専用ダイヤルにご相談いただく際は、年金証書等に記載している「基礎年金番号」をご用意ください。

※ 月曜日など休日明けやお客様のお手元に通知書が届いた直後（5 日程度）は、電話がつながりにくくなっております。週の後半と月の後半はつながりやすくなっておりますので、どうぞご利用ください。

改めまして、このたびはお客様に多大なるご迷惑をおかけいたしましたこと、心よりお詫び申し上げます。

振込先申出書
(他年金無)

基礎年金番号・年金コード

****-*****-****

振込先申出書

未払いとなっている●●年金の受け取りにつきまして、下記の金融機関への振込を希望します。
(ア、イ のいずれかに○印をつけて、必要事項をご記入ください。)

→ **ア** ●●年金の請求時に請求書記載等、日本年金機構に届出した預金口座への振込を希望します。

※参考(現在日本年金機構にお届けいただいている●●年金の受取金融機関等)

●● 銀行・金庫・信組

●●

→ **イ** 以下の金融機関の預金口座への振込を希望します。

変更後の受取機関(いずれかを選んで記入してください)

1 金融機関 (ゆうちょ銀行を除く)	(フリガナ)													
	銀行・信連 金庫・農協 信組・漁協 信漁連										本店(本所) 支店(支所) 出張所			
	預金種別		預金通帳の口座番号											
	普通													
2 ゆうちょ銀行 (郵便局)	預金通帳の口座番号													
	記号(左詰めでご記入ください)							番号(右詰めでご記入ください)						
							—							

口座名義(カナ)

- ※ 上記口座が公金受取口座の場合は、お近くの年金事務所に
ご相談ください。
- ※ 口座番号等をご記入のうえ、金融機関又は
ゆうちょ銀行(郵便局)の証明を受けてください。
- ※ 預金通帳の写し(金融機関名、支店名、口座番号、
口座名義人フリガナが記載された部分)を添付される
場合は金融機関の証明は必要ありません。
- ※ ご本人名義の預金口座に限ります。

金融機関又は
ゆうちょ銀行(郵便局)
の証明欄

令和 年 月 日

郵便番号 —

住 所

氏 名

電話番号 ()

※ 口座をお持ちでない方や口座でのお受け取りが困難な事情がある方は、お受け取り方法について、
「給付点検専用ダイヤル」又はお近くの年金事務所にお問い合わせください。

記入例 (振込先申出書)

振込先を「ア」とした場合は、「イ」の部分の記入は不要です。

振込先を「イ」とした場合は、受取金融機関をご記入の上、通帳の写し(金融機関名、支店名、口座番号、口座名義人フリガナが記載された部分)を添付するか、金融機関又はゆうちょ銀行(郵便局)の証明を受けてください。

口座名義(カナ)を記入してください。

記入日・郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入してください。

基礎年金番号・年金コード		*****-*****-*****	
--------------	--	-------------------	--

振込先申出書

未払いとなっている●●年金の受け取りにつきまして、下記の金融機関への振込を希望します。
(ア、イ のいずれかに○印をつけて、必要事項をご記入ください。)

ア ●●年金の請求時に請求書記載等、日本年金機構に届出した預金口座への振込を希望します。

※参考(現在日本年金機構にお届けいただいている●●年金の受取金融機関等)

●● 銀行・金庫・信組 ●● *****

イ 以下の金融機関の預金口座への振込を希望します。

変更後の受取機関(いずれかを選んで記入してください)

① 金融機関 (ゆうちょ銀行を除く)	(フリガナ) キコウ	銀行・信連 金庫・農協 信組・済協 信連連		本店(本店) 支店(支所) 出張所
	機構			
	預金種別	預金通帳の口座番号		
	普通	1 1 1 1 1 1		

② ゆうちょ銀行(郵便局)

預金通帳の口座番号

記号(左詰めでご記入ください)	番号(右詰めでご記入ください)

口座名義(カナ)

ネンキン ハナコ

※ 口座が公金受取口座の場合は、お近くの年金事務所に相談ください。

※ 口座番号等をご記入のうえ、金融機関又はゆうちょ銀行(郵便局)の証明を受けてください。

※ 預金通帳の写し(金融機関名、支店名、口座番号、口座名義人フリガナが記載された部分)を添付される場合は金融機関の証明は必要ありません。

※ ご本人名義の預金口座に限ります。

金融機関又はゆうちょ銀行(郵便局)の証明欄

令和 2 年 1 月 1 2 日

郵便番号 1 1 1 - 2 2 2 2

住 所 東京都 杉並区 高井戸 3 - 5 - 2 4

氏 名 年金 花子

電話番号 1 1 1 (2 2 2 2) 3 3 3 3

※ 口座をお持ちでない方や口座でのお受け取りが困難な事情がある方は、お受け取り方法について、「給付点検専用ダイヤル」又はお近くの年金事務所にお問い合わせください。

*****-*****-*****

(ア、イ、ウ のいずれかに○印をつけて、必要事項をご記入ください。)

金融機関又は
ゆうちょ銀行(郵便局)
の証明欄

記入例 (振込先申出書)

振込先を「ア」又は「イ」とした場合は「ウ」の部分の記入は不要です。

振込先を「ウ」とした場合は、受取金融機関をご記入の上、通帳の写し(金融機関名、支店名、口座番号、口座名義人フリガナが記載された部分)を添付するか、金融機関又はゆうちょ銀行(郵便局)の証明を受けてください。

口座名義(カナ)を記入してください。

記入日・郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入してください。

基礎年金番号・年金コード		*****-*****-****	
--------------	--	------------------	--

振込先申出書

未払いとなっている年金の受け取りにつきまして、下記の金融機関への振込を希望します。
(ア、イ、ウ のいずれかに○印をつけて、必要事項をご記入ください。)

☒ **ア** ○○年金の請求時に請求書記載等、日本年金機構に届出した預金口座への振込を希望します。
※参考(現在日本年金機構にお届けいただいている受取金融機関)
◎◎ 銀行・金庫・信組 ●● 支店 口座番号 *****

☐ **イ** 現在受給中の◇◇年金が振込されている預金口座への振り込みを希望します。
※参考(現在受給中の年金が振込されている受取金融機関)
◎◎ 銀行・金庫・信組 ●● 支店 口座番号 *****

☒ **ウ** 以下の金融機関の預金口座への振込を希望します。

変更後の受取機関(いずれかを選んで記入してください)			
① 金融機関 (ゆうちょ銀行を除く)	(フリガナ) キコウ	銀行・信連 金庫・農協 信組・協同 信連連	
	機構	本店(本所) 支店(支所) 出張所	
② ゆうちょ銀行 (郵便局)	預金種別	預金通帳の口座番号	
	普通	1 1 1 1 1 1 1	
預金通帳の口座番号			
記号(左詰めでご記入ください)		番号(右詰めでご記入ください)	
-			

口座名義(カナ)

ネンキン ハナコ

※ 上記口座が年金受取口座の場合は、お近くの年金事務所に
ご提出ください。
※ 口座番号等をご記入のうえ、金融機関又は
ゆうちょ銀行(郵便局)の証明を受けてください。
※ 預金通帳の写し(金融機関名、支店名、口座番号、
口座名義人フリガナが記載された部分)を添付される
場合は金融機関の証明は必要ありません。
※ ご本人名義の預金口座に限ります。

金融機関又は
ゆうちょ銀行(郵便局)
の証明欄

令和 2 年 1 月 12 日

郵便番号 1 1 1 - 2 2 2 2

住 所 東京都 杉並区 高井戸 3-5-24

氏 名 年金 花子

電話番号 1 1 1 (2 2 2 2) 3 3 3 3

※ 口座をお持ちでない方や口座でのお受け取りが困難な事情がある方は、お受け取り方法について、
「給付点検専用ダイヤル」又はお近くの年金事務所にお問い合わせください。

所得に係る申立書

日本年金機構理事長 殿

私、_____は、65 歳になった年の前年（誕生月が 1 月から 6 月までの方は前々年）から令和 5 年までの間の所得額について、以下のとおり申し立てます。

（裏面の記入例を参考に、ア又はイのいずれかに○を付けてください。）

ア. 所得額※¹が 360 万 4 千円※²を超える年はなかった

イ. 所得額が 360 万 4 千円を超える年があった

（該当する年を記載してください。）

上記の内容に相違ありません。

令和 年 月 日

基礎年金番号

氏 名

住 所

※ 1 所得額とは、総所得金額等（所得の種類ごとに収入から必要経費等（給与については給与所得控除額）を控除すること等により計算した金額の合計額）から、医療費控除額、社会保険料控除額等を控除した額です。なお、ご自身の総収入自体が 360 万 4 千円以下となる場合や住民税が非課税である場合は、「ア」に該当します。また、遺族年金は非課税であり、所得額には含まれません。

※ 2 お客様が受給権を有しておられる 20 歳前傷病による障害基礎年金等については、扶養親族等がいらっしゃらない場合、所得額が 360 万 4 千円を超え、462 万 1 千円以下であるときは支給額が 2 分の 1 となり、所得額が 462 万 1 千円を超えるときは全額が支給停止となります。「イ」に○を付されたお客様については、日本年金機構において、お住まいの市区町村への照会等を通じて所得額を調べさせていただき、所得額が限度額を超えることが確認された年分の障害年金について支給停止を行わせていただく可能性があります。

総点検

記入例

所得に係る申立書

日本年金機構理事長 殿

私、年金 太郎 は、65 歳になった年の前年（誕生月が 1 月から 6 月までの方は前々年）から令和 5 年までの間の所得額について、以下のとおり申し立てます。

（裏面の記入例を参考に、ア又はイのいずれかに○を付けてください。）

ア. 所得額^{*1}が 360 万 4 千円^{*2}を超える年はなかった

☒ イ. 所得額が 360 万 4 千円を超える年があった

（該当する年を記載してください。）

令和元年

該当する年が複数ある場合は、
「〇〇年～△△年」と記載してください。

上記の内容に相違ありません。

令和 6 年 1 月 1 日

基礎年金番号 XXXX-XXXXXX

氏 名 年金 太郎

住 所 東京都杉並区高井戸西 3-5-24

支援給付金請求案内

送付年月

令和●年●月
日本年金機構**年金生活者支援給付金請求手続きのご案内**

日頃から、年金業務運営に対してご理解をいただき誠にありがとうございます。

年金生活者支援給付金は、公的年金等の収入や所得額が一定基準額以下の年金受給者の生活を支援するために、年金に上乗せして支給されるものです。

このたび、同封の支払通知書等のとおり、●●年金の未払い分をお支払いするところですが、これにより、お客様は年金生活者支援給付金の支給要件にも該当する可能性があることが判明いたしました。

つきましては、同封のリーフレットをご確認いただき、請求書に必要事項を記入し、返信用封筒に入れて下記提出期限までにご提出ください。

送付日から 2 週間後

提出期限 令和●年●月●日 (●) を目途に届くよう提出してください。

※ 請求書の提出期限までにご提出いただけた場合は、審査の上、支給要件に該当した場合は遡って給付金のお支払いを行いますので、速やかな請求手続きをお願いいたします。

提出期限後にご提出いただいた場合は、受付月の翌月分からの支給となります。

* 上記につきまして、ご不明な点等がございましたら、お手数ですが、裏面の給付点検専用ダイヤルにご相談ください。

○ お問い合わせ先（コールセンター）

給付点検専用ダイヤル：0120-511-612

受付時間 月 曜 日 8：30～19：00

火～金曜日 8：30～17：15

第 2 土曜日 9：30～16：00

土曜日、日曜日、祝日（第 2 土曜日は除く）、12 月 29 日～1 月 3 日は
ご利用いただけません。（受付時間は変更される場合があります。）

※ 給付点検専用ダイヤルにご相談いただく際は、年金証書等に記載している「基礎年金番号」
をご用意ください。

※ 月曜日など休日明けやお客様のお手元に通知書が届いた直後（5 日程度）は、電話がつ
ながりにくくなっております。週の後半と月の後半はつながりやすくなっております
ので、どうぞご利用ください。

改めまして、このたびはお客様に多大なるご迷惑をおかけいたしましたこと、
心よりお詫び申し上げます。

**現存未払い
選択申出書提出勧奨**

送付年月

令和 ● 年 ● 月
日本年金機構

年金受給選択申出書等の提出のご案内

日頃から年金制度の運営に対し、ご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。
このたび、お客様が受け取られている年金額について確認いたしましたところ、下記内容のお手続をいただくことで、お客様が受給されている年金を増額できる可能性があることが判明いたしました。

つきましては、同封の届書（または申出書）に必要事項を記載のうえ、最寄りの年金事務所にご提出ください。

記

1. 対象となる年金の種類

〇〇年金

保留解除する年金種別

2. ご案内の理由

年金を受給されている方に、異なる種別の年金が新規裁定された場合、お客様から年金受給選択申出書の提出があるまでは支払いを保留しますが、年金受給選択申出書の提出をいただいていないため、年金の支払いが保留されたままであることが判明いたしました。年金受給選択申出書をご提出いただくことにより、保留を解除し支給することができます。

3. 提出が必要な届書（または申出書）

年金受給選択申出書、振込先申出書、所得に係る申立書

4. 提出先

最寄りの年金事務所

対象者毎に必要な以下のいずれか
年金受給選択申出書／振込先申出書／
所得に係る申立書

5. お支払いする金額

お支払い日の前に届く「年金支払通知書」または「年金振込通知書」をご確認ください。

上記につきまして、ご不明な点等がございましたら、お手数ですが、最寄りの年金事務所又は裏面の給付点検専用ダイヤルにご相談ください。

送付年月

R●.● 給付点検No.43

○ お問い合わせ先（コールセンター）

給付点検専用ダイヤル：0120-511-612

受付時間 月 曜 日 8：30～19：00

火～金曜日 8：30～17：15

第 2 土曜日 9：30～16：00

土曜日、日曜日、祝日（第 2 土曜日は除く）、12 月 29 日～1 月 3 日は
ご利用いただけません。（受付時間は変更される場合があります。）

※ 給付点検専用ダイヤルにご相談いただく際は、年金証書等に記載している「基礎年金番号」をご用意ください。

※ 月曜日など休日明けやお客様のお手元に通知書が届いた直後（5 日程度）は、電話がつながりにくくなっております。週の後半と月の後半はつながりやすくなっておりますので、どうぞご利用ください。

改めまして、このたびはお客様に多大なるご迷惑をおかけいたしましたこと、心よりお詫び申し上げます。

4 Q & A

| | |-------------| | お客様向け Q & A | |-------------| (年金事務所・専用ダイヤル・コールセンター用)

- 問 1 今回の事象はどのような事象か。
- 問 2 「年金の追加支給のご案内」が届いたが、これは何か。
- 問 3 「年金の追加支給のご案内」が届いたが、手続きをする必要はあるのか。
- 問 4 「年金の追加支給に関する届書等提出のご案内」が届いたが、これは何か。
- 問 5 「年金の追加支給に関する届書等提出のご案内」が届いたが、どのような手続きが必要か。
- 問 6 「年金受給選択申出書等の提出のご案内」が届いたが、これは何か。
- 問 7 「年金受給選択申出書等の提出のご案内」が届いたが、どのような手続きが必要か。
- 問 8 このような事象が生じた原因は何か。
- 問 9 受給している年金にどのような影響があるのか。
- 問 10 未払いの金額を教えてください。
- 問 11 未払い金はどこまで遡って支払われるのか（消滅時効のため、支払われない年金はないか。）。
- 問 12 事前に予約しないと相談はできないのか。

職員向け Q & A

- 問 1 本事象の対象者かどうかは年金事務所で確認可能か。
- 問 2 本事象の対象者のうち、今回の対象者以外の者について、いつ、対応を行うのか。
- 問 3 お客様から、税金等について具体的な案内を求められた場合、どこに照会するように案内するのか。
- 問 4 今回の事象の対象者数や未払い金額は改めて公表するのか。
- 問 5 (年金受給選択申出書の未提出により 5 年を超える期間の支払いがされない方から) 遡って全部支払うよう求められた場合はどのように対応するのか

お客様向け Q & A

問 1 今回の事象はどのような事象か。

(答)

このたび、お客様が受け取られている年金額について確認いたしましたところ、未払いがあることが判明しました。

具体的には、年金の支払いを停止する事由が生じた場合、過払いを防止するため、一時的に支払いを保留する処理を行いますが、その後当該事由が解消した際に解除処理が漏れたため、未払いが生じていました。

問 2 「年金の追加支給のご案内」が届いたが、これは何か。

(答)

このたび、お客様が受け取られている年金額について確認いたしましたところ、未払いがあることが判明しました。

具体的には、年金の支払いを停止する事由が生じた場合、過払いを防止するため、一時的に支払いを保留する処理を行いますが、その後当該事由が解消した際に解除処理が漏れたため、未払いが生じていました。

このたび、未払い分のお支払いの準備ができましたので、お支払いについてご案内するものです。

問 3 「年金の追加支給のご案内」が届いたが、手続きをする必要はあるのか。

(答)

お客様の年金を正しくお支払いするための処理が完了したことをお知らせするものですので、お客様の手続きは不要です。

問 4 「年金の追加支給に関する届書等提出のご案内」が届いたが、これは何か。

(答)

このたび、お客様が受け取られている年金額について確認いたしましたところ、未払いがあることが判明しました。

具体的には、年金の支払いを停止する事由が生じた場合、過払いを防止するため、一時的に支払いを保留する処理を行います。その後当該事由が解消した際に解除処理が漏れたため、未払いが生じていました。

【振込先申出書の提出が必要な場合】

未払となっていた年金の振込先として登録されている金融機関口座は、長期間支給停止されていたことにより、直近 1 年以内に年金の振込を行った実績がないことから、改めて振込先を確認させていただいた後、ご希望の口座にお振込みします。

【所得に係る申立書の提出が必要な場合】

支給要件に該当しているかどうかを確認するために、65 歳になった年の前年（誕生月が 1 月から 6 月までの方は前々年）からの所得（※）を確認させていただく必要がありますので、お手数ですが、所得に係る申立書のご提出をお願いします。

（※）20 歳前の傷病による障害基礎年金及び旧障害福祉年金からの裁定替えによる障害基礎年金は、受給者の前年の所得が一定の額を超える場合、該当期間の年金の全額又は一部が支給停止となります。

問 5 「年金の追加支給に関する届書等提出のご案内」が届いたが、どのような手続きが必要か。

（答）

【振込先申出書の提出が必要な場合】

同封しています「振込先申出書」をご記入いただき、通帳の写し（金融機関名、支店名、口座番号、口座名義人フリガナが記載された部分）を添付、又は金融機関の証明を受けた上で、返信用封筒で送付してください。

「振込先申出書」が機構に届いてから約 3 か月後に、ご希望の口座にお振込みします。

【所得に係る申立書の提出が必要な場合】

支給要件に該当しているかどうかを確認するために、65 歳になった年の前年（誕生月が 1 月から 6 月までの方は前々年）からの所得を確認させていただく必要があります。

お手数ですが、ご自身の所得を確認のうえ、裏面の記入例を参照していただき、基礎年金番号、住所、氏名等をご記入ください。

問 6 「年金受給選択申出書等の提出のご案内」が届いたが、これは何か。

(答)

このたび、お客様が受け取られている年金額について確認いたしましたところ、お手続きをいただくことで、お客様が受給されている年金を増額できることが判明いたしました。

具体的には、お客様が現在受給されている年金とは別の年金が新規裁定された際、過払いの防止のため年金受給選択申出書の提出があるまでは支払いを保留しますが、年金受給選択申出書の提出がなかったため、一方の年金の支払いが保留されていることが判明いたしました。

問 7 「年金受給選択申出書等の提出のご案内」が届いたが、どのような手続きが必要か。

(答)

支払が保留されている年金を受給するために、受給を希望する旨の申出が必要ですので、お手数ですが年金受給選択申出書のご提出をお願いします。

提出いただいた書類を確認し、未払い分をお支払いします。

問 8 このような事象が生じた原因は何か。

(答)

【未選択保留が解除されていなかった場合（選択申出書の提出が必要な場合）】

保留されている年金を支給するためには、「年金受給選択申出書」の提出が必要であり、年金の請求時よりその提出についてご案内を行っていましたが、お客様からの年金受給選択申出書の提出がなかったことによるものです。

【上記以外の場合】

支払を保留していた要因が解消した、あるいは保留の必要がなかったにもかかわらず、職員による確認漏れにより、保留解除処理を行っていなかったことが原因です。

問 9 受給している年金にどのような影響があるのか。

(答)

【未選択保留が解除されていなかった場合（選択申出書の提出が必要な場合）】

お申出いただいた選択方法によっては、現在受給している年金の一部又は全部が停止する可能性があります。一方で、年金受給選択申出書をご提出いただいた後から約3か月後に、お申出いただいた選択方法による未払い分をお支払いいたします。

【上記以外の場合】

現在、受給している年金には影響はありません。

この度、支払いが保留されている一方の年金について、支払保留の解除を行い、その未払い分をお支払いするものです。

問 10 未払いの金額を教えてください。

(答)

【職権処理によりお支払いした場合】

年金支払通知書が同封されている場合には、「過去分の支払額（一時払）」欄をご覧ください。「年金支払通知書」が同封されていない場合は、同封の「年金振込通知書」をご覧ください。

【届書提出後にお支払いする場合】

お手続きから約 3 か月後に振込を行います。その直前に届く年金支払通知書の「過去分の支払額（一時払）」欄をご覧ください。「年金支払通知書」が同封されていない場合は、同封の「年金振込通知書」をご覧ください。

問 11 未払い金はどこまで遡って支払われるのか（消滅時効のため、支払われない年金はないか。）。

(答)

【未選択保留が解除されていなかった場合（選択申出書の提出が必要な場合）】

お客様から年金受給選択申出書の提出が必要にもかかわらず、未提出となっていたことから、当機構の事務処理誤りには該当しないため、5年以内の未払い分のみお支払いします。

※ 年金受給選択申出書が提出されていないことについて、機構の事務処理誤

り等の事実が客観的に認められる場合には、年金給付部に個別に協議してください。

【上記以外の場合】

事務処理誤りに該当するため、5 年（消滅時効）を超える期間についても、全額お支払いします。

問 1 2 事前に予約しないと相談はできないのか。

(答)

必ず予約していただく必要はありませんが、直接、年金事務所にお越しいただくと、お待ちいただくことがありますので、予約していただくことをおすすめしています。

職員向け Q & A

問 1 本事象の対象者かどうかは年金事務所で確認可能か。

(答)

年金受給選択申出書の勧奨を行った者については、住所地を管轄する年金事務所ごとの対象者一覧を、送付の都度、以下のフォルダに格納します。

基幹共有 (N) ≫ 01_全国基幹共有 ≫ 10_年金給付業務部門 ≫ 01_年金給付部
≫ 01_給付企画 1G ≫ 03_配布 ≫ 00_事務所別フォルダ ≫ 各年金事務所フォルダ
≫ 総点検増額事案対応

ファイル名「機年_総点検増額事案対応 (R●.●) _4XXX」
(●.●は送付月、4XXX は 4 桁の事務所コード)

その他の対象者については、基本的に給付点検専用ダイヤルでお客様対応をすることから、対象者一覧表は提供しません。

問 2 本事象の対象者のうち、今回の対象者以外の者について、いつ、対応を行うのか。

(答)

同一事象であっても、個々のお客様の記録によって、お客様へのお支払までの処理方法等が異なるため、お客様対応が可能な時期が異なります。準備ができたものから順次対応を行うこととしています。

今回のお手紙送付対象者以外の者について、処理が完了しましたら、随時、お客様対応をお示しします。

問 3 お客様から、税金等について具体的な案内を求められた場合、どこに照会するように案内するのか。

(答)

それぞれについて、以下のとおり案内してください。

- ・ 税金 (国税)
⇒ お近くの税務署
- ・ 住民税、国民健康保険料 (税)、介護保険料
⇒ お住まいの市区町村役場
- ・ 雇用保険の給付
⇒ お近くのハローワーク
- ・ 各健康保険制度から支給される傷病手当金
⇒ 加入している健康保険の保険者
- ・ 企業年金基金
⇒ 加入員であった厚生年金基金又は企業年金連合会

問 4 今回の事象の対象者数や未払い金額は改めて公表するのか。

(答)

月次の事務処理誤り報告で公表します。

問 5 (年金受給選択申出書の未提出により 5 年を超える期間の支払いがされない方から) 遡って全部支払うよう求められた場合はどのように対応するのか

(答)

年金受給選択申出書の提出がなかったことによるため、5 年を超える期間のお支払はできないことを丁寧に説明して下さい。

なお、提出がされなかったことについて、機構の事務処理誤り等の事実が客観的に認められる場合には、事務処理誤り報告の上、年金給付部へ個別に協議してください。

【参考】過去の対象者**1 令和 5 年 12 月の対象者**

以下の条件を全て満たす者の一部

- ① 支払保留 2 の状態である
- ② 住民基本台帳検索により、生存していることが確認できる
- ③ 支払保留 2 の状態である年金の他に、受給中の年金（日本年金機構から支給されているものに限る）があり、振込口座が同一である

2 令和 6 年 1 月の対象者

(1) 以下の条件を全て満たす者の一部（別紙 1）

- ① 遺族厚生年金が未選択保留 1 の状態である
- ② 遺族厚生年金の他に、併給が可能な他年金を受給中である
- ③ 遺族厚生年金と受給中の他年金（日本年金機構から支給されているものに限る。）の振込口座が同一である
- ④ 公用請求等により、遺族年金が失権事由に該当していないことが確認できる

(2) 以下の条件を全て満たす者の一部（別紙 2・別紙 3 又は別紙 4）

- ① 支払保留 2 の状態である
- ② 住民基本台帳検索により、生存していることが確認できる
- ③ 支払保留 2 の状態である年金の他に、受給中の年金があり、振込口座が相違している

(3) 以下の条件を全て満たす者の一部（別紙 2・別紙 3 又は別紙 4・別紙 5）

- ① 支払保留 2 の状態である
- ② 住民基本台帳検索により、生存していることが確認できる
- ③ 支払保留 2 の状態である年金の他に、受給中の年金があり、振込口座が相違している
- ④ 支払保留 2 の状態である年金の支給に当たって、所得状況の確認が必要である